

高校入試の日程について

現在、埼玉県の公立高校学力検査は3月始めに行われます。これは、平成24年度の学力検査から、中学3年間の学習状況をみるために、学力検査の時期を遅くしたことによってだったと記憶しています。

それに対して、私立高校の入学試験の時期は、以前のままの日程で行われます。つまり、1月22日、23日あたりが入試の集中日となっています。つまり、私立高校を第一志望としている生徒は、この段階で卒業後の進路が決定するということです。

『中学校の授業は、高校入試の為にやるものではない。』ということが正論であることはもちろんですが、教員としては、この私立入試の時期までに、どうか教科書の内容はすべて終わらせようとするのが普通ではないかと思います。そして、教科書の内容が終わったら、3年間のまとめ。つまり、言い方を変えれば、公立高校に向けて入試対策をやるうと考えるわけです。

この1月末の時期から3月始めにかけての1ヶ月余の期間が、生徒にとっても教員にとっても、非常に苦しい時期となります。

進路が決まった生徒にしてみれば、「今までがんばってきて、やっと進路が決まったのだから、少しはのんびり過ごしたい。」「残り少ない中学校生活を楽しまたい。」「少し勉強から解放されたい。」と考えるところでしょう。それに対して、公立高校が第一志望の生徒は、「最後のラストスパート。」「進路が決まった生徒もいて、がんばらなきゃ。(あせりがでてくる)」「今まで私立対策をしてきて、ここから公立対策をがんばろう。」「集中して授業を受けたい。」などと考える生徒がいます。

このまったく違った考えの生徒が同じクラスに混在している状態で、公立に向けて、気を抜かせることなく授業をしていかないといけないのです。「クラス全員の進路が決まるまで、みんなで協力してがんばろう。」と声をかけながら、進路が決まった生徒にも気を抜かせることなく、浮ついた雰囲気ださせないように気をつけながら……。

この期間が1、2週間ならまだしも、1ヶ月もの期間もあるのは、生徒にとっても、教員にとっても非常に苦しいことをわかってもらいたいものです。

MCD